

尼崎市立学校財務(定期)監査  
及び行政監査結果報告

平成 27 年 6 月

尼 崎 市 監 査 委 員

尼 監 報 告 第 3 号  
平 成 27 年 6 月 24 日

様

尼崎市監査委員	今	西	昭	文
同	堀		智	子
同	寺	坂	美	一
同	酒	井		一

#### 財務(定期)監査及び行政監査結果報告

地方自治法第199条の規定に基づき監査を行ったので、その結果に関する報告を次のとおり提出します。

## 目 次

小 学 校 .....	1
中 学 校 .....	2
高 等 学 校 .....	3
幼 稚 園 .....	4
小学校及び中学校に共通する監査の結果 .....	5

# 小 学 校

## 1 監査の期間

平成 26 年 10 月 23 日から平成 27 年 4 月 22 日まで

## 2 監査の対象

今回の監査は、明城小学校、難波小学校、難波の梅小学校、竹谷小学校、下坂部小学校、潮小学校、長洲小学校、清和小学校、杭瀬小学校、浦風小学校、金楽寺小学校、浜小学校の12校が平成25年12月1日から平成26年11月30日までに執行した事務事業を対象に実施した。

## 3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、これらの視点に加え、事務事業の執行が合理的に行われていたかを監査した。

その結果、監査対象事務は、おおむね適正かつ合理的に処理されていたが、次の「措置を求める事項」については速やかに所要の措置を講じられたい。

### 措置を求める事項

薬品の管理について

「小学校及び中学校に共通する監査の結果（5 ページ）」に記載

# 中 学 校

## 1 監査の期間

平成26年10月23日から平成27年4月22日まで

## 2 監査の対象

今回の監査は、成良中学校（琴城分校を含む）、中央中学校、日新中学校、小田南中学校、若草中学校、小田北中学校、大成中学校の7校が平成25年12月1日から平成26年11月30日までに執行した事務事業を対象に実施した。

## 3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、これらの視点に加え、事務事業の執行が合理的に行われていたかを監査した。

その結果、監査対象事務は、おおむね適正かつ合理的に処理されていたが、次の「措置を求める事項」については速やかに所要の措置を講じられたい。

### 措置を求める事項

薬品の管理について

「小学校及び中学校に共通する監査の結果（5 ページ）」に記載

# 高 等 学 校

## 1 監査の期間

平成 26 年 10 月 23 日から平成 27 年 4 月 22 日まで

## 2 監査の対象

今回の監査は、尼崎高等学校が平成25年12月1日から平成26年11月30日までに執行した事務事業を対象に実施した。

## 3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、これらの視点に加え、事務事業の執行が合理的に行われていたかを監査した。

その結果、いずれの事務についても、おおむね適正かつ合理的に処理されていた。

# 幼稚園

## 1 監査の期間

平成 26 年 10 月 23 日から平成 27 年 4 月 22 日まで

## 2 監査の対象

今回の監査は、博愛幼稚園、梅園幼稚園、竹谷幼稚園、長洲幼稚園、大庄幼稚園、大島幼稚園の6園が平成25年12月1日から平成26年11月30日までに執行した事務事業を対象に実施した。

## 3 監査の結果

今回の財務(定期)監査は、財務に関する事務の執行が関係法令に準拠し、的確に行われていたかを監査した。また、行政監査は、これらの視点に加え、事務事業の執行が合理的に行われていたかを監査した。

その結果、いずれの事務についても、おおむね適正かつ合理的に処理されていた。

## 小学校及び中学校に共通する監査の結果

小学校及び中学校に共通する事項は次のとおりであり、速やかに所要の措置を講じられたい。

### 措置を求める事項

#### 薬品の管理について

前回の監査（結果報告：平成 26 年 6 月）において、監査対象の中学校で理科の教材として購入された劇物薬品について、薬品受払簿に受入及びその使用等についての記載がなされていなかったことから、教育委員会事務局に学校での毒物及び劇物の管理について事情聴取を行った。

これに対し、教育委員会事務局から「『学校における理科薬品の保管管理に関する点検』の点検項目による点検を実施し、各学校の状況を把握するとともに、状況に応じた必要な措置を講じるよう指導する」との回答がなされた。

しかしながら今回の監査においても、複数の学校で塩酸等の劇物の薬品受払簿への記載漏れが見受けられ、また、水酸化ナトリウムの水溶液について、適正な管理がなされていなかった。

さらに、薬品受払簿の様式には、使用目的を記載する欄が設けられておらず、文部科学省通知により定められた管理としては十分なものではなかった。

（学校教育課）

### <指導の要点>

毒物及び劇物の管理にあたっては、児童生徒等に危険が及ぶ可能性があることを十分考慮し、速やかに適正に管理される仕組みを構築し、管理体制を強化すること。